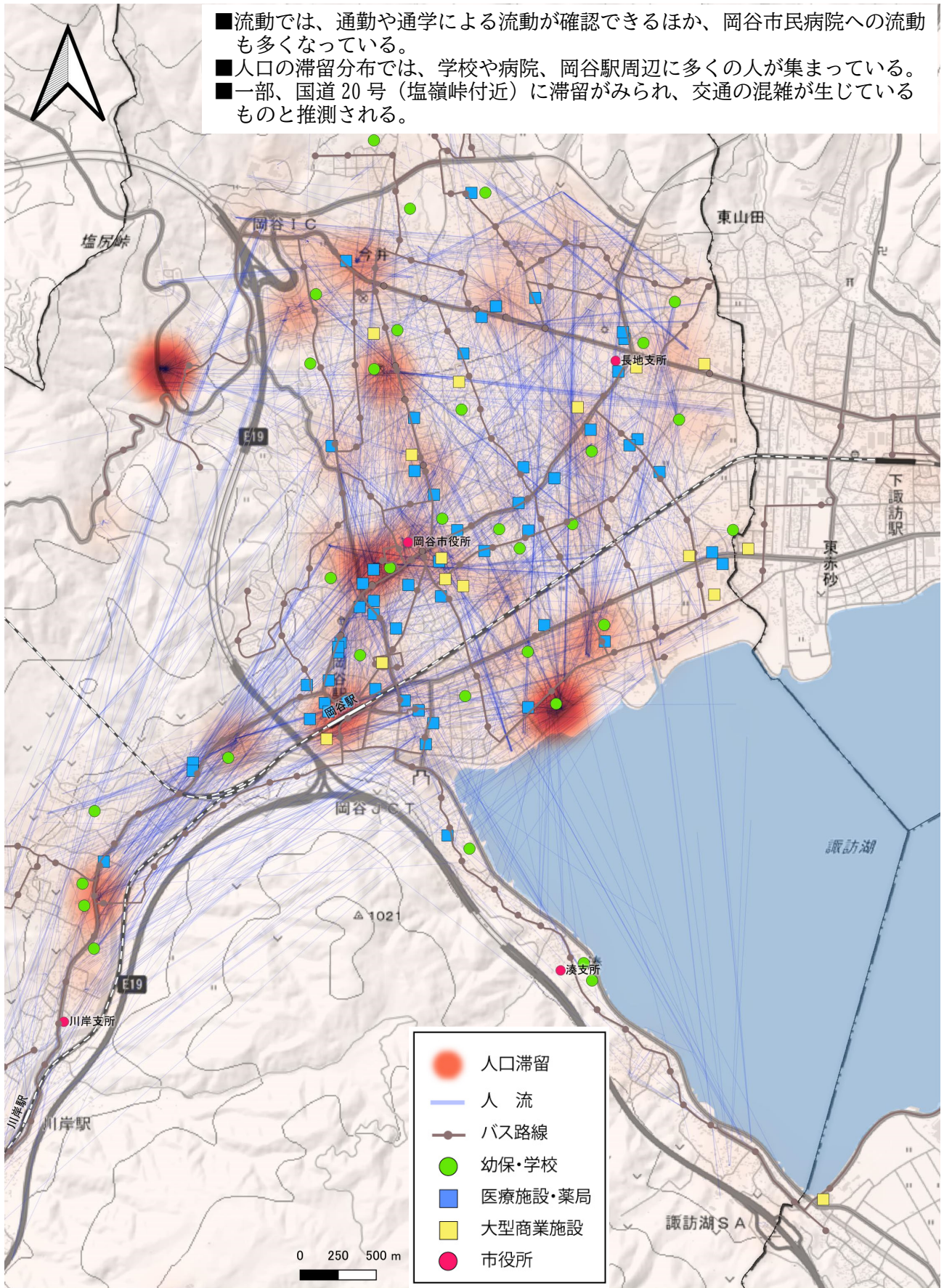


市内⇄市内

(2) 市内⇄市内の流動データ

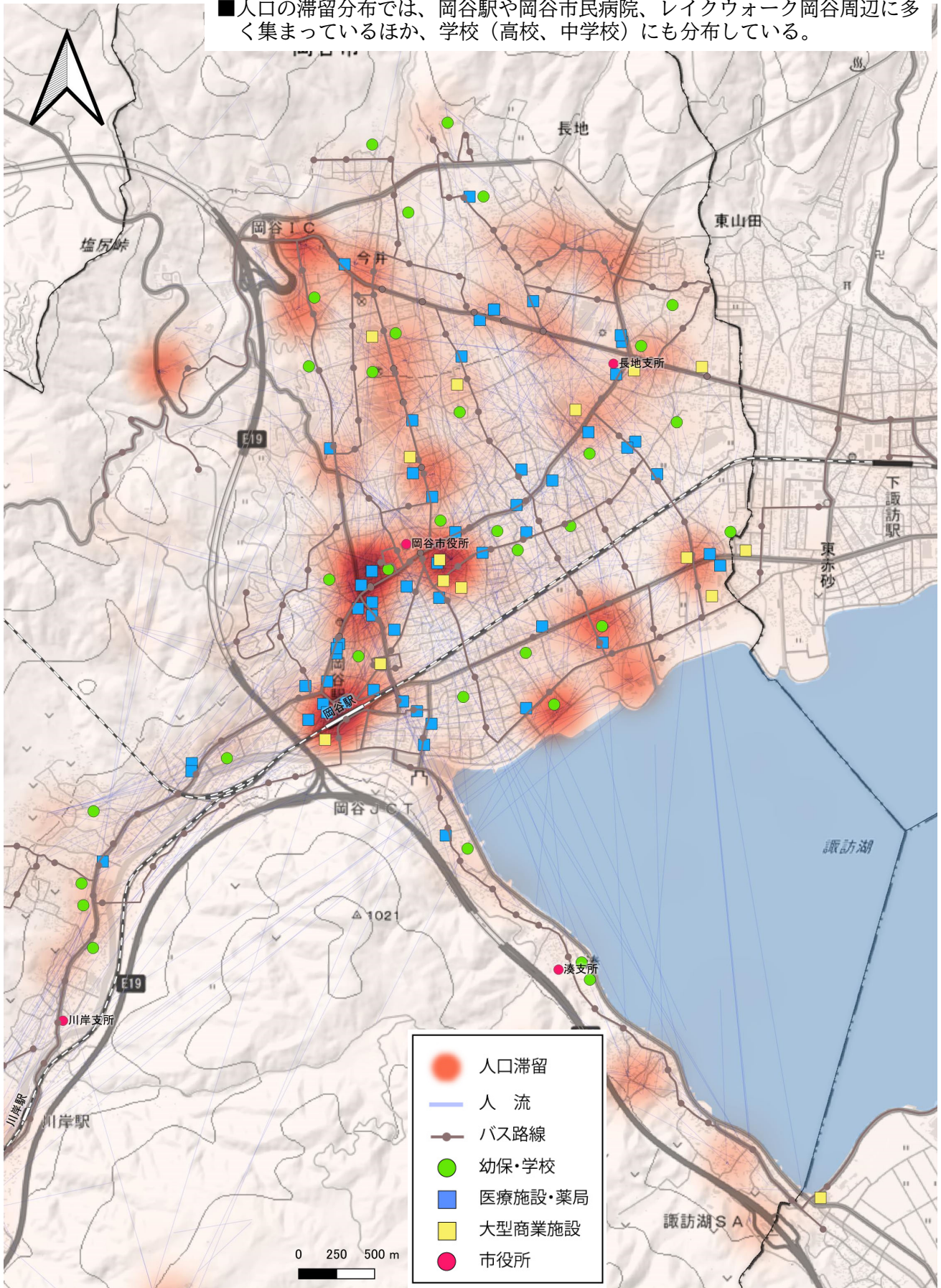
① 60歳未満 5～9時 (平日・休日)



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-25 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳未満の平日 5～9時)

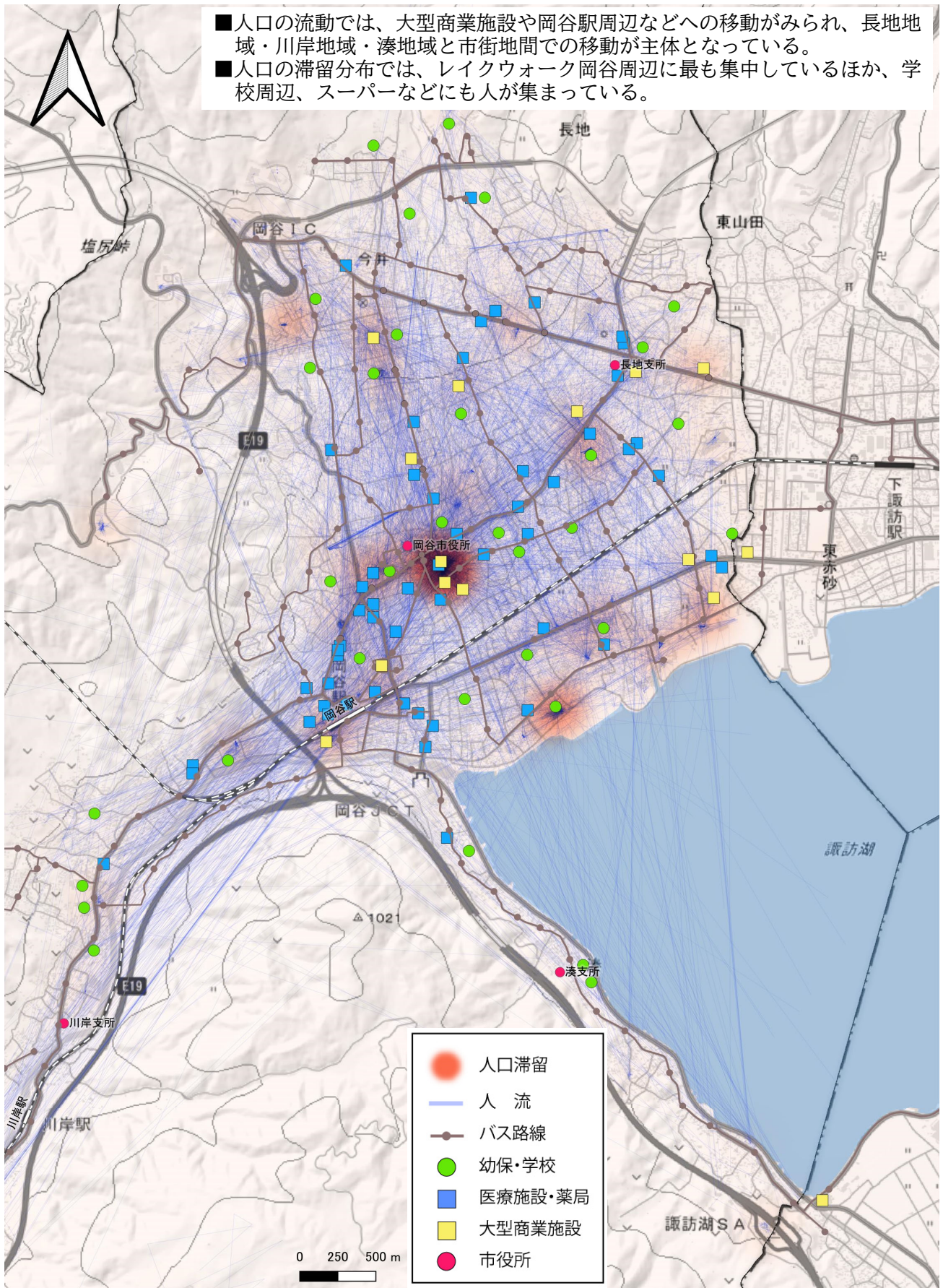
- 休日は通勤や通学による流動は少なく、病院や商業施設への流動が主体となっている。
- 人口の滞留分布では、岡谷駅や岡谷市民病院、レイクウォーク岡谷周辺に多く集まっているほか、学校（高校、中学校）にも分布している。



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

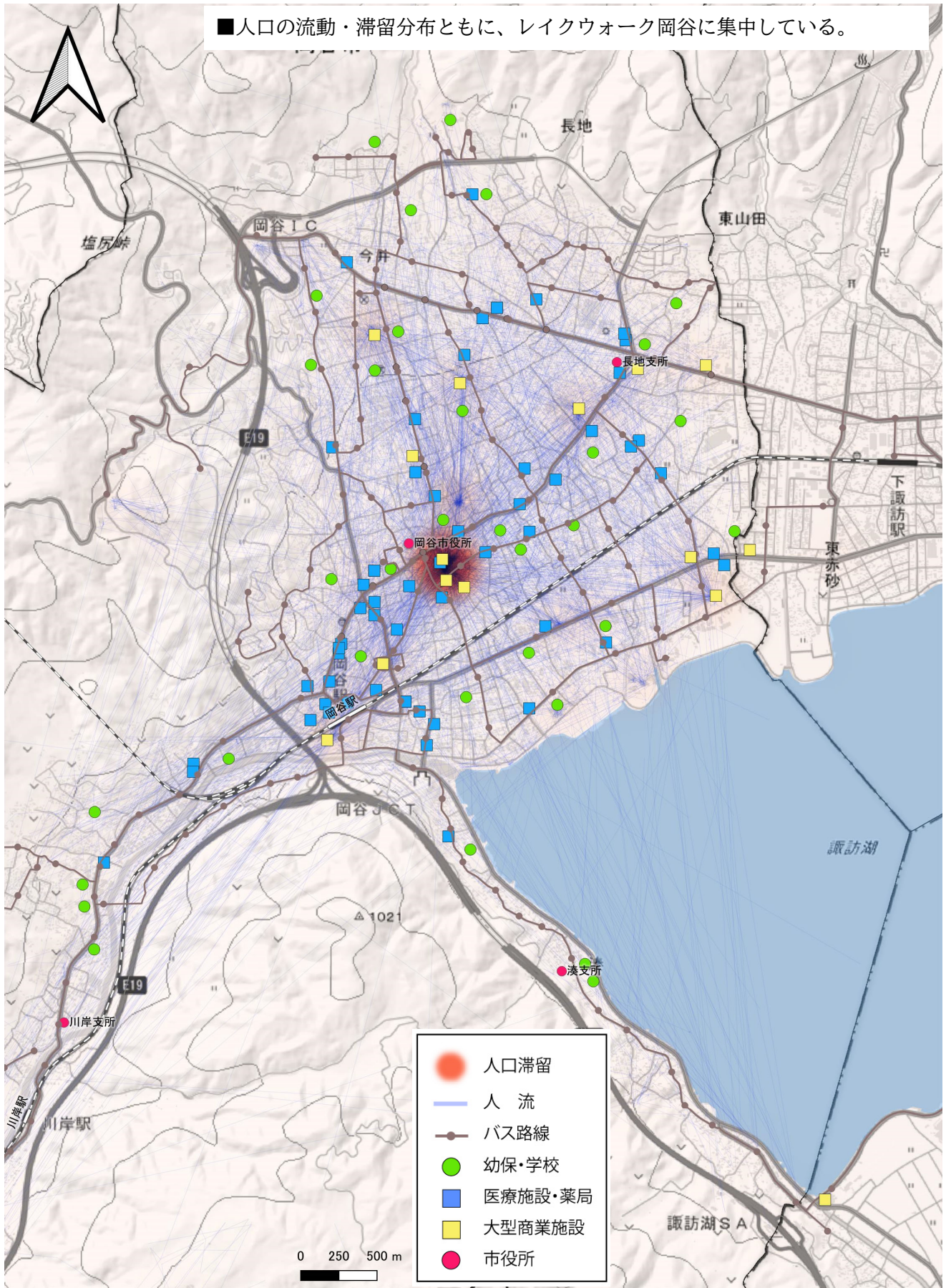
図 2-26 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳未満の休日 5~9時)

② 60歳未満 10～16時（平日・休日）



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

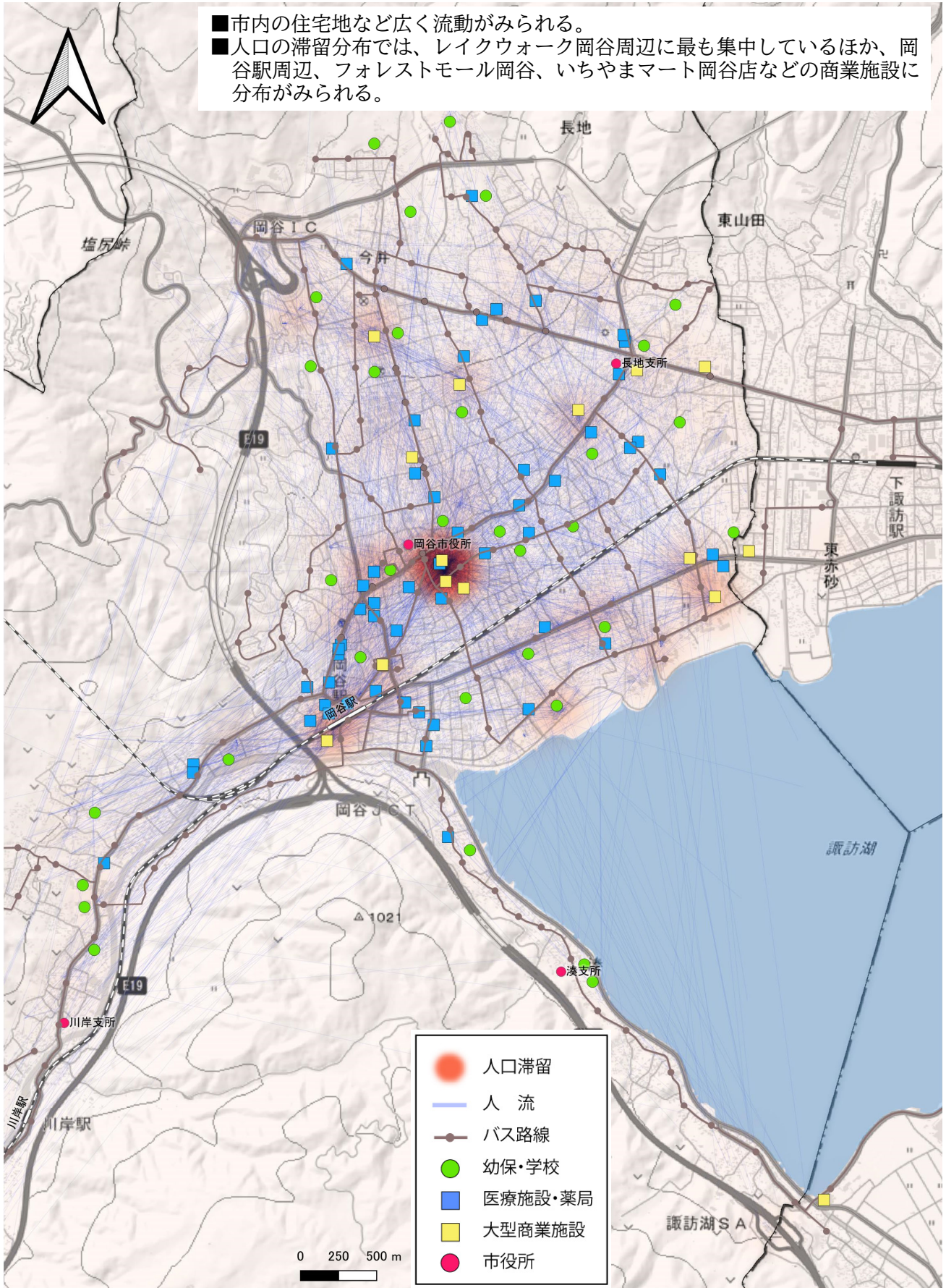
図 2-27 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ（60歳未満の平日 10～16時）



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-28 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳未満の休日 10~16時)

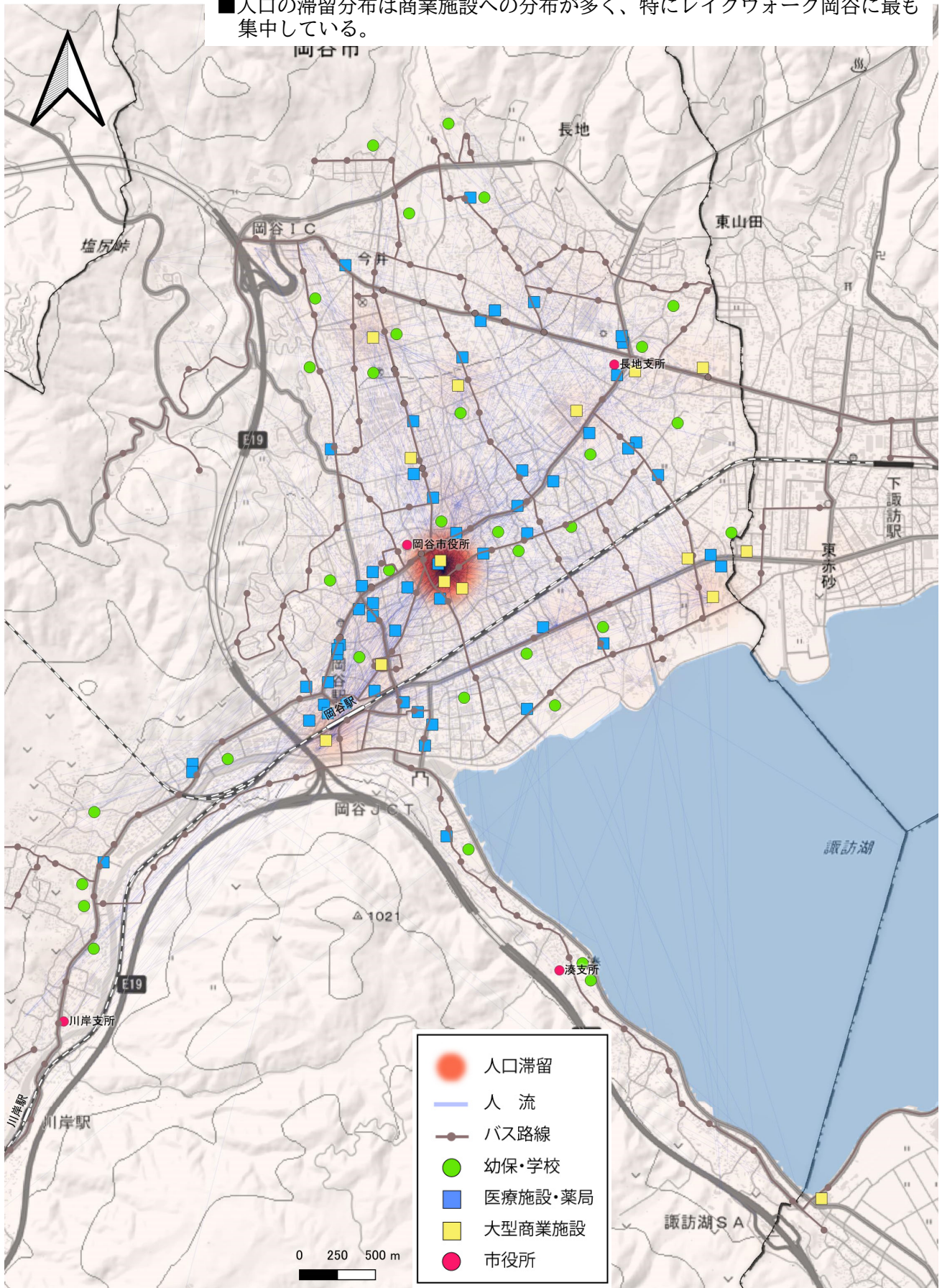
③ 60歳未満 17～21時 (平日・休日)



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-29 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳未満の平日 17～21時)

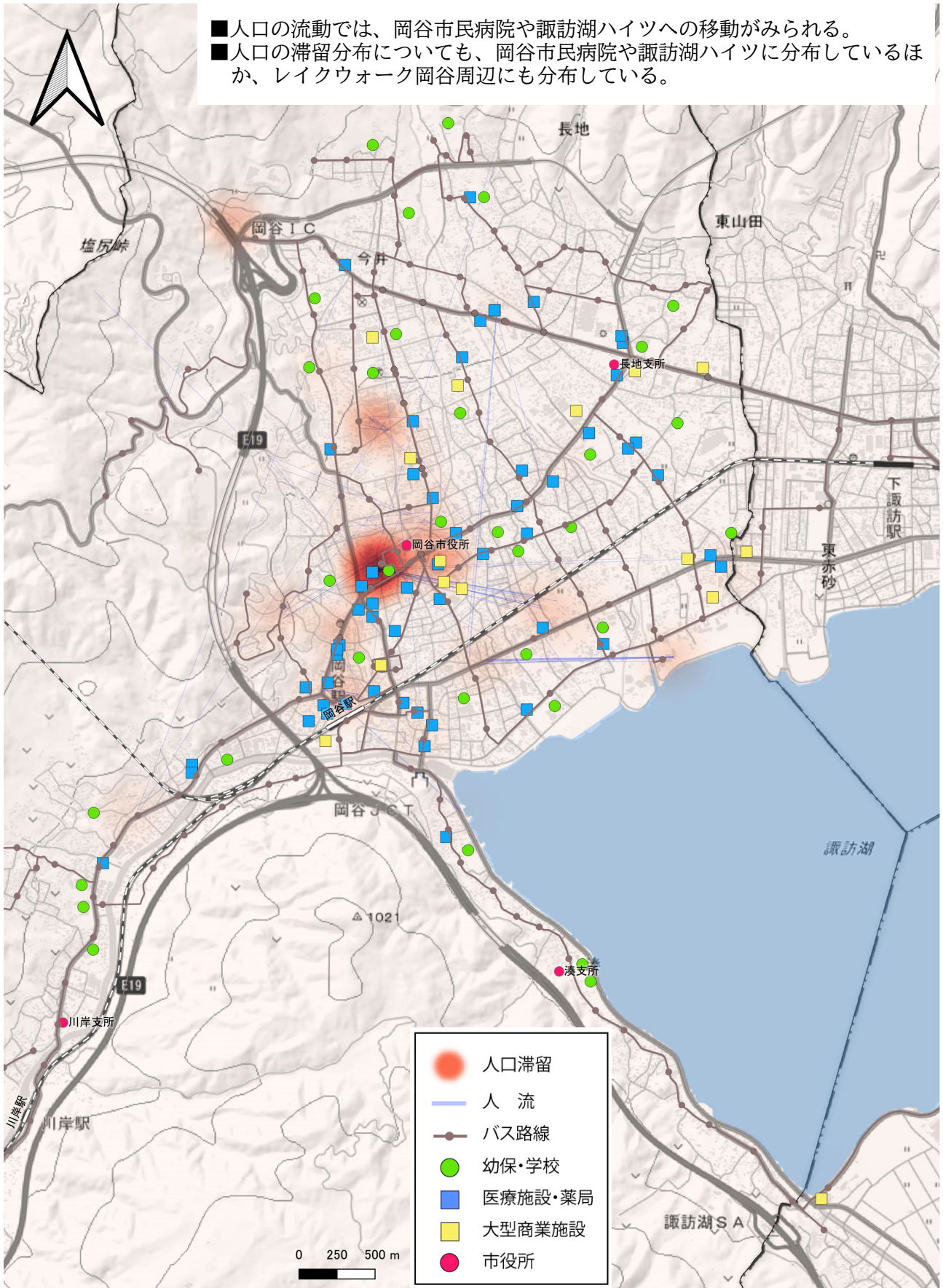
- 平日に比べて流動は少ないものの、レイクウォーク岡谷周辺、岡谷駅などへの流動がみられる。
- 人口の滞留分布は商業施設への分布が多く、特にレイクウォーク岡谷に最も集中している。



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-30 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳未満の休日 17~21時)

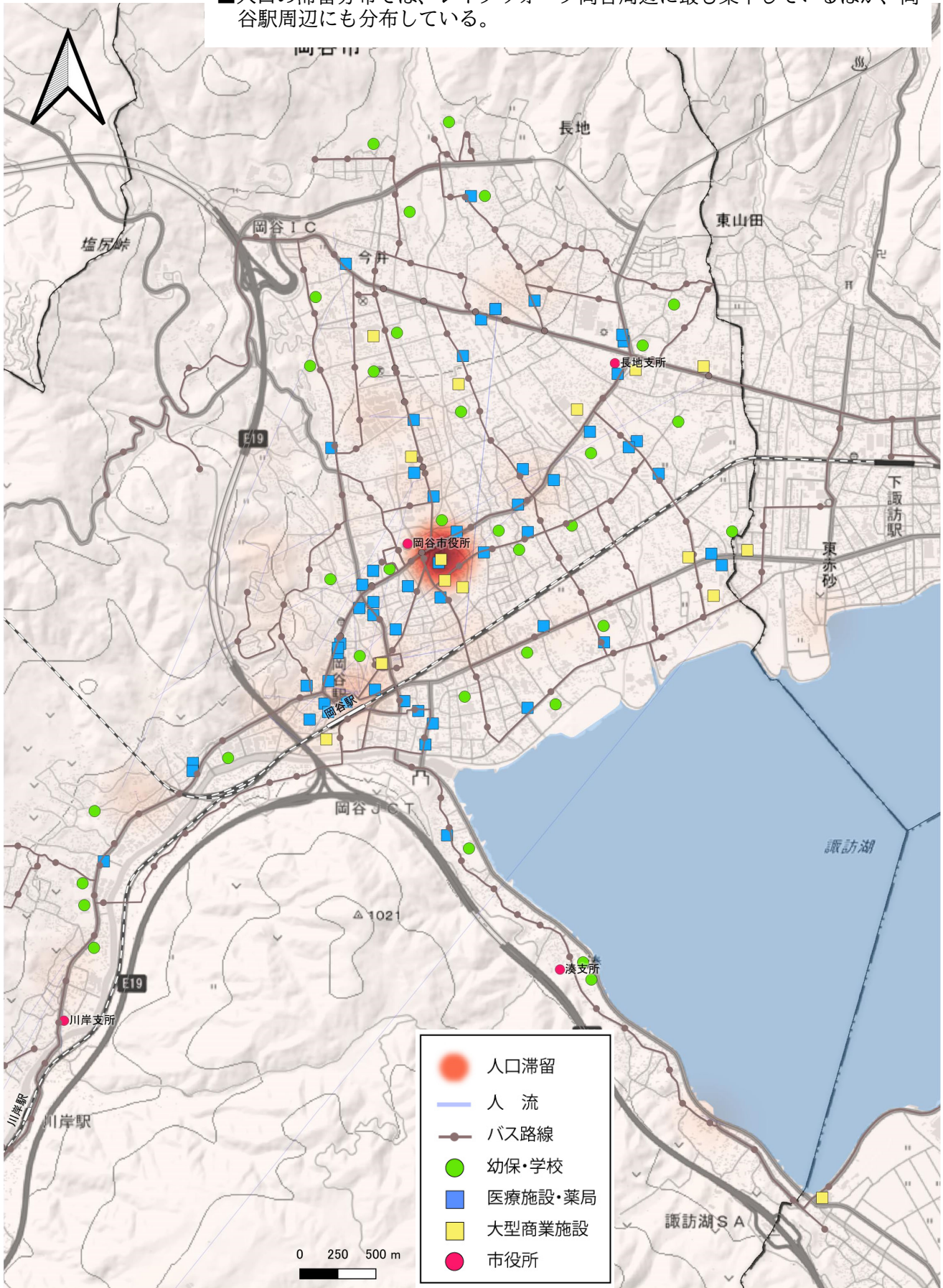
④ 60歳以上 5～9時（平日・休日）



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-31 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ（60歳以上の平日 5～9時）

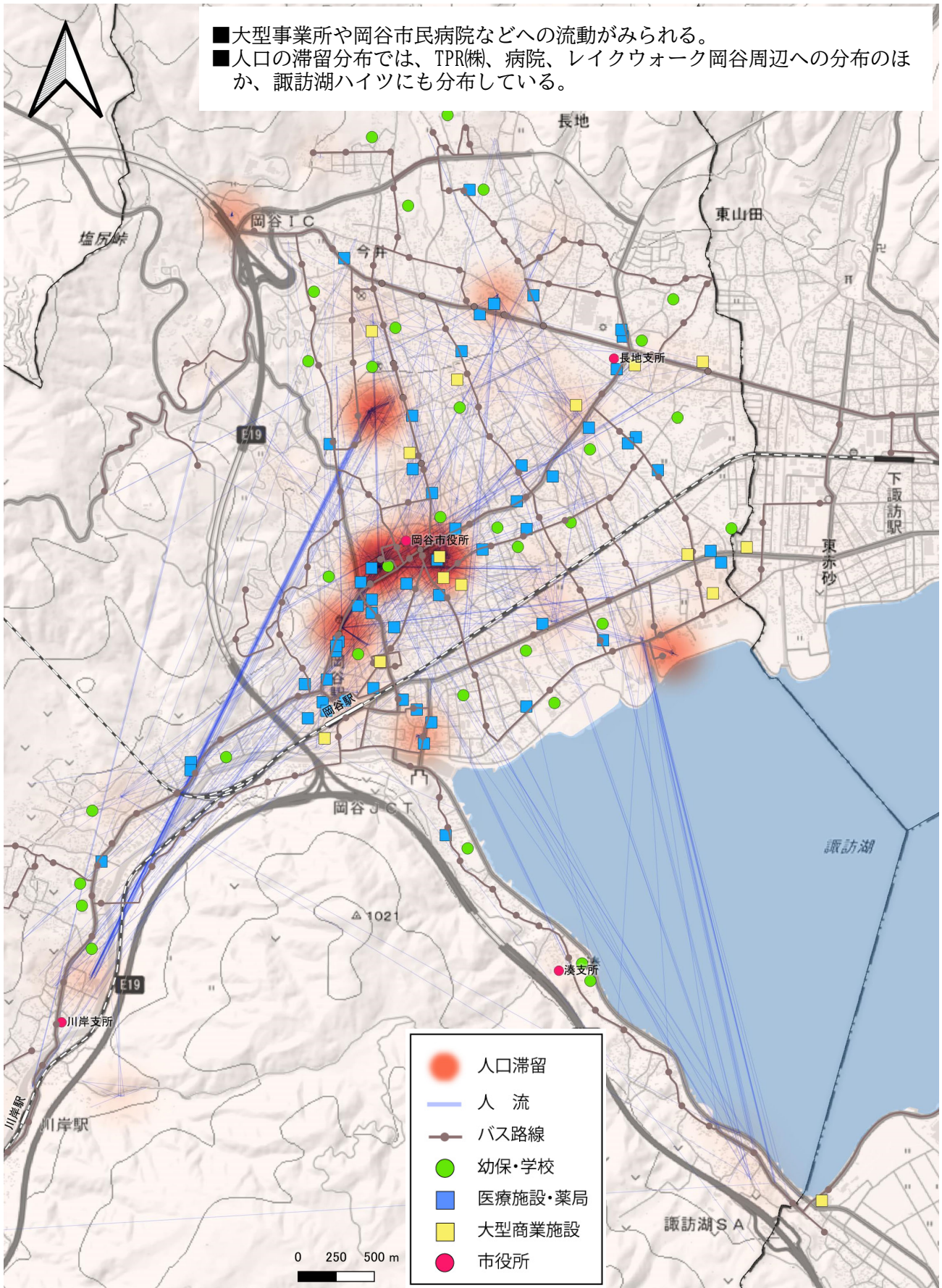
- 人口の流動はほとんどみられず、移動が少ないことが確認できる。
- 人口の滞留分布では、レイクウォーク岡谷周辺に最も集中しているほか、岡谷駅周辺にも分布している。



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-32 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳以上の休日 5~9時)

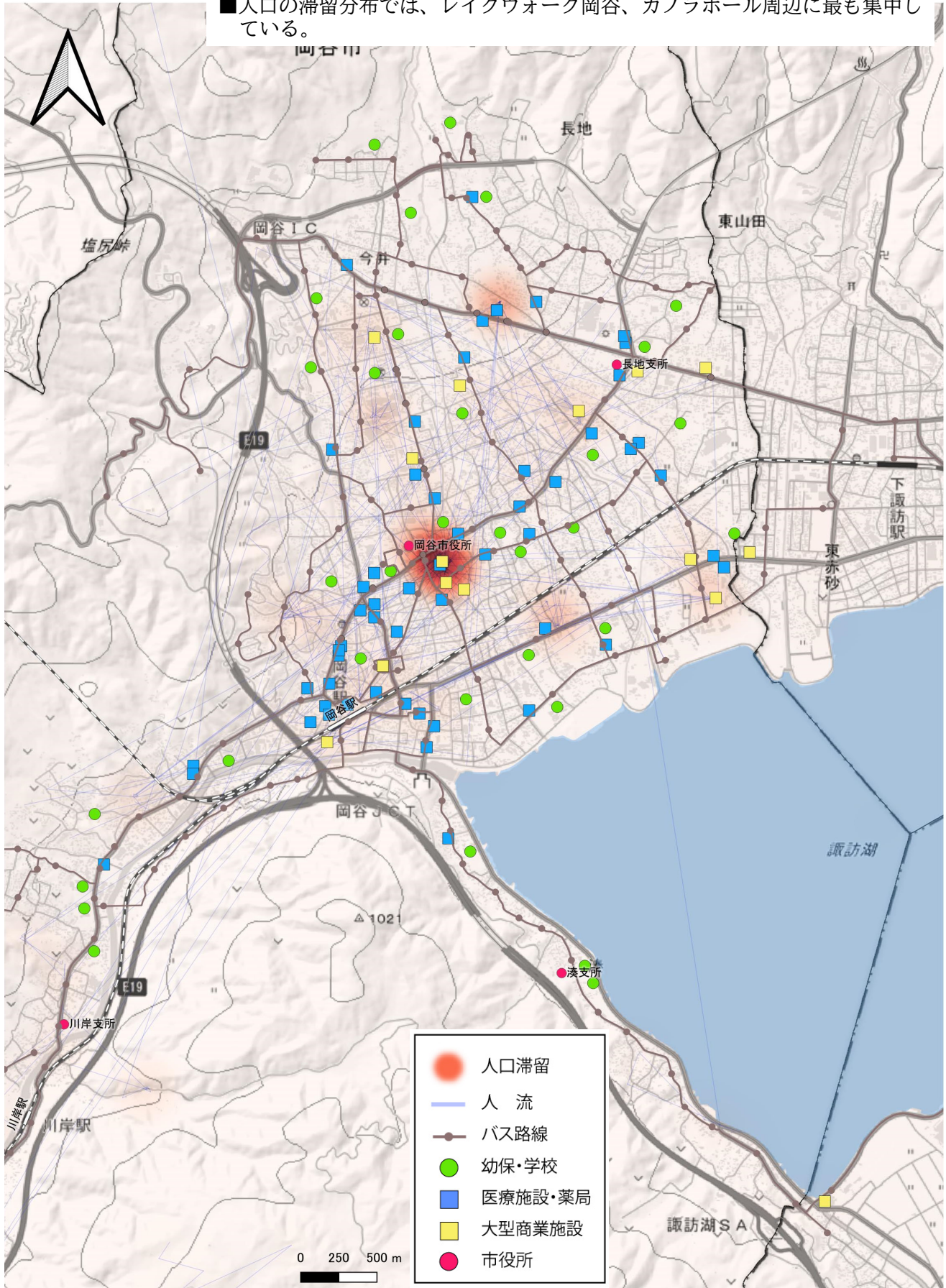
⑤ 60歳以上 10～16時 (平日・休日)



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-33 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳以上の平日 10～16時)

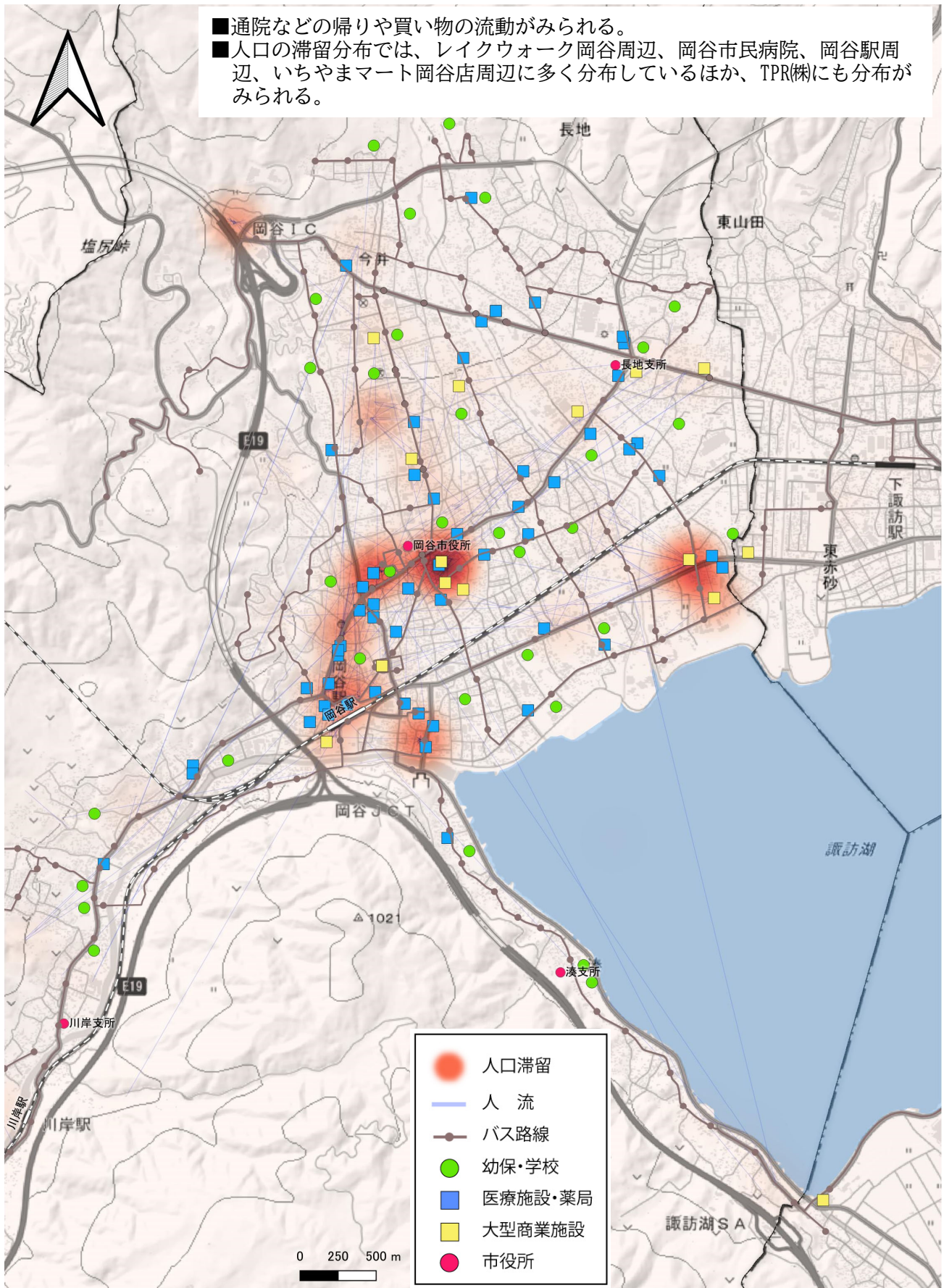
- 人口の流動は広く分散しているが、レイクウォーク岡谷周辺などにやや集中している。
- 人口の滞留分布では、レイクウォーク岡谷、カノラホール周辺に最も集中している。



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-34 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳以上の休日 10~16時)

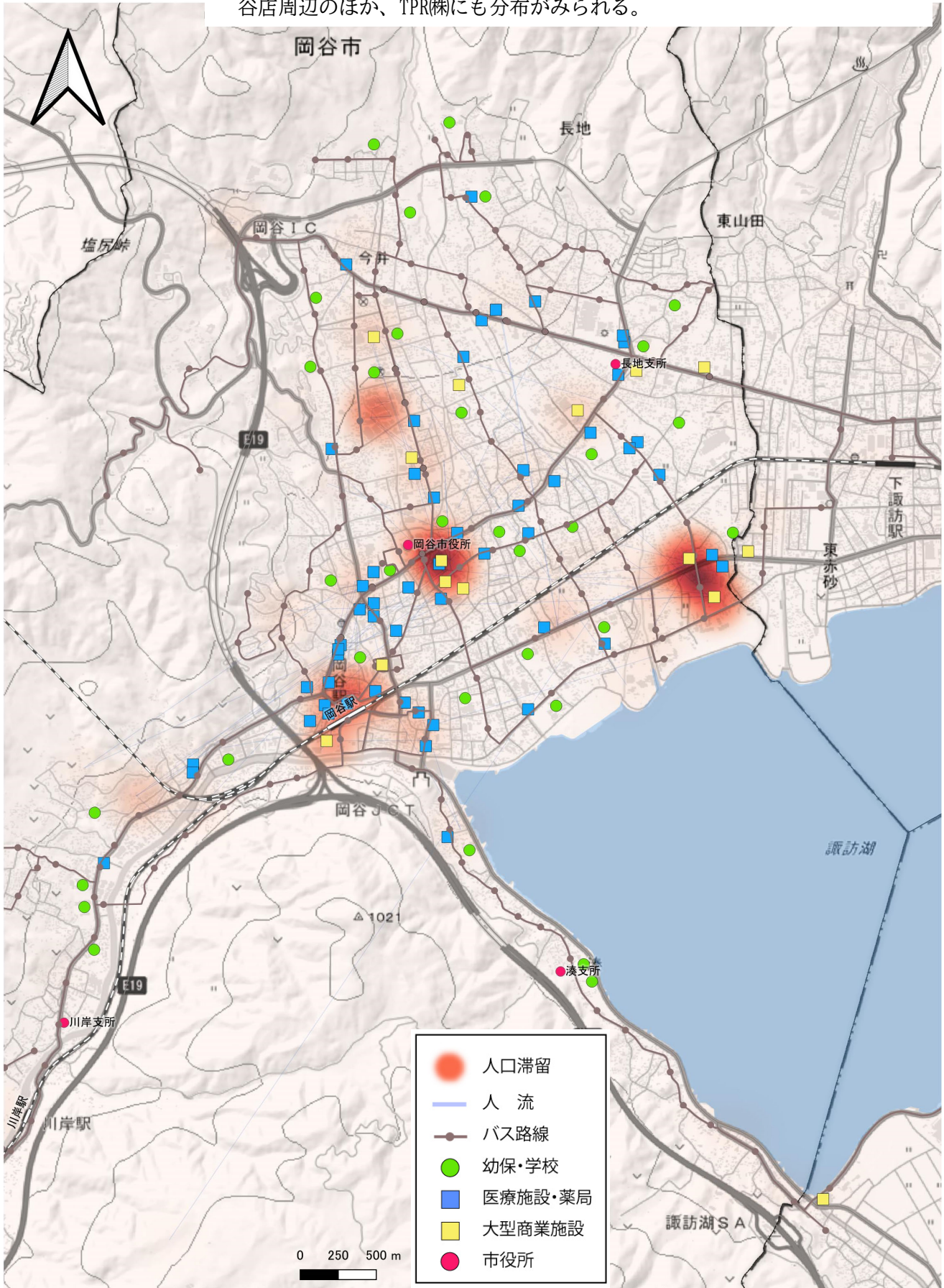
⑥ 60歳以上 17～21時 (平日・休日)



出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-35 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳以上の平日 17～21時)

- 人口の流動はほとんどみられず、移動が少ないことが確認できる。
- 人口の滞留分布では、レイクウォーク岡谷周辺、岡谷駅、いちやまマート岡谷店周辺のほか、TPR(株)にも分布がみられる。



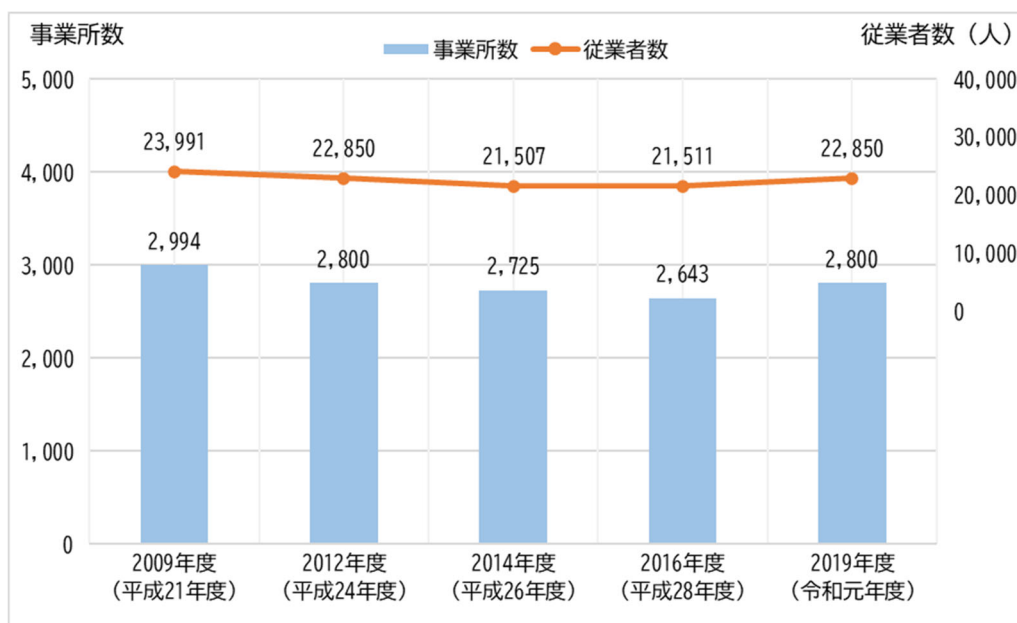
出典：(株) Agoop「ポイント型流動人口データ 2022年10月」再編加工

図 2-36 岡谷市内のみでの人流ヒートマップ (60歳以上の休日 17~21時)

2-5. 産業動向

(1) 事業所数及び従業員数の推移

岡谷市の事業所・従業員数の推移について、2016年（平成28年）頃までは両指標ともに微減傾向が続いていましたが、2019年度（令和元年度）では両指標ともに微増に転じています。



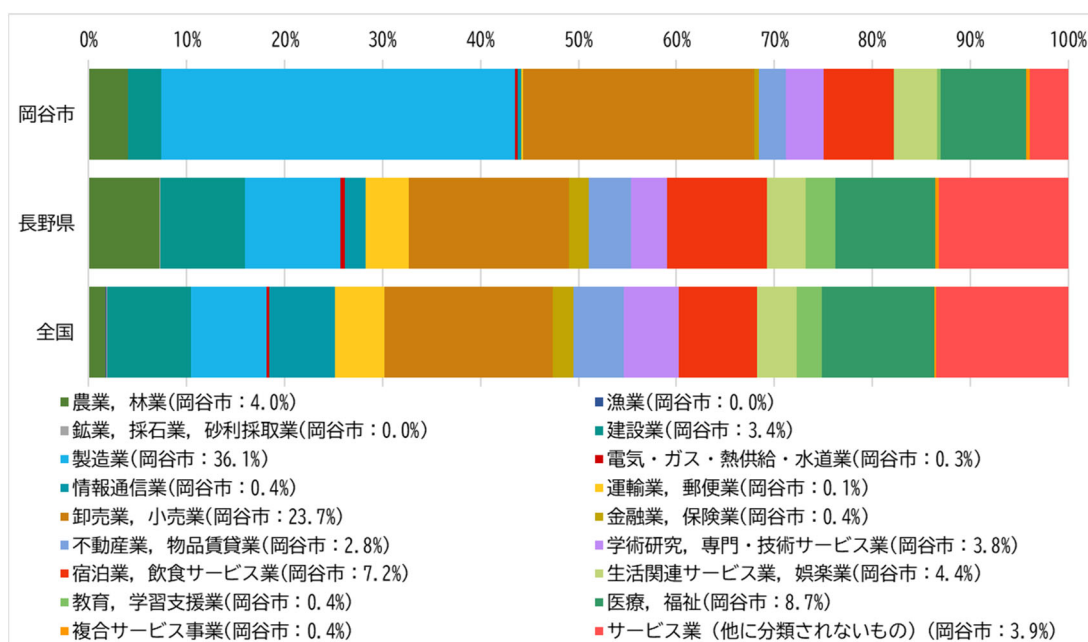
※企業数については、会社数と個人事業所を合算した数値。従業者数は事業所単位の数値。

出典：総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

図 2-37 事業所数及び従業員数の推移

(2) 産業分類別に見た従業者数の構成比

岡谷市の産業分類別に見た従業者数（事業所単位）の構成比は、「製造業」と「卸売業、小売業」の構成比が高くなっており、この特徴は長野県全体ならびに全国の構成比よりも顕著となっています。



※凡例の数値は岡谷市の構成比を指す。

出典：総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

図 2-38 産業大分類別に見た従業者数（事業所単位）の構成比（2019年）

2-6. 買い物動向

(1) 地元滞留率

岡谷市の2018年（平成30年）における地元滞留率（全品目）は71.5%となっており、およそ7割が市内で買い物をしています。

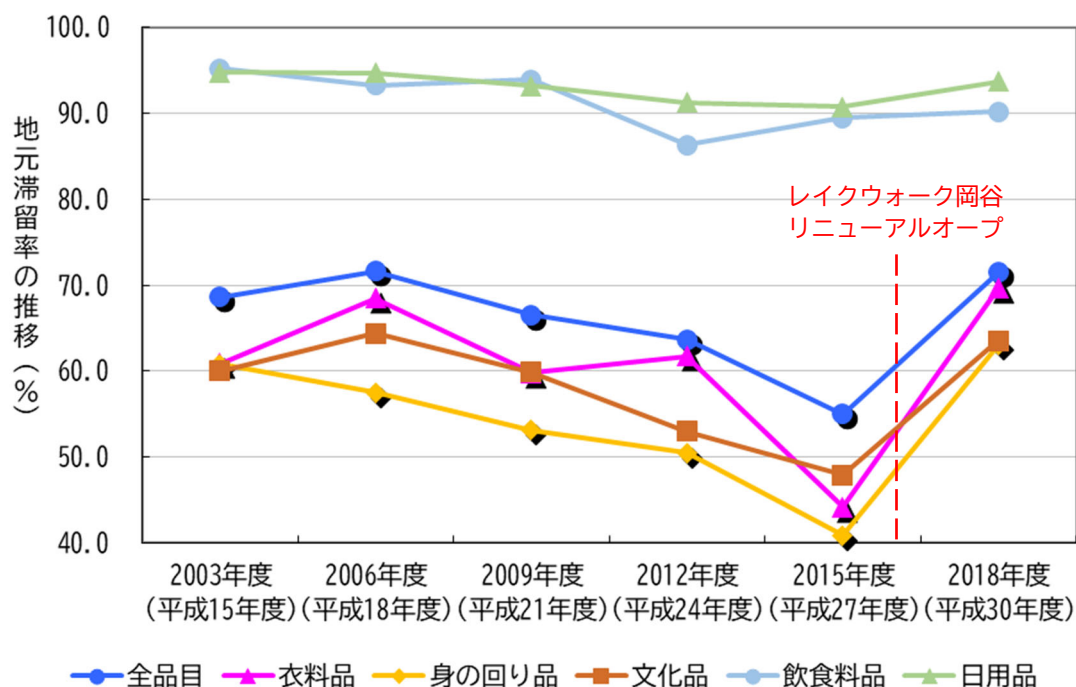
地元滞留率の推移としては、全品目の平均値は2015年（平成27年）にかけて減少が続いていましたが、2018年では2015年比で15%以上の増加となっています。この要因として、2016年（平成28年）にリニューアルオープンした複合施設「レイクウォーク岡谷」によるものと考えられます。

品目別の推移では、衣料品・身の回り品・文化品※といった比較的低頻度の買い物については全品目の平均値と同様の推移ですが、飲食料品や日用品といった比較的高頻度の買い物では、概ね90%前後で横ばいの推移となっています。

※文化品：時計、カメラ、書籍、文具類、玩具、スポーツ用品、電化製品、家具など

(%)

岡谷市	2003年度 (平成15年度)	2006年度 (平成18年度)	2009年度 (平成21年度)	2012年度 (平成24年度)	2015年度 (平成27年度)	2018年度 (平成30年度)
全品目	68.6	71.6	66.5	63.7	55.0	71.5
衣料品	60.9	68.5	59.8	61.7	44.2	69.6
身の回り品	60.8	57.5	53.1	50.5	40.9	63.0
文化品	60.0	64.4	59.9	53.0	47.9	63.5
飲食料品	95.2	93.3	93.9	86.3	89.5	90.2
日用品	94.8	94.7	93.2	91.3	90.8	93.7



出典：長野県産業労働部「平成30年長野県商圈調査報告書」再編加工

図 2-39 地元滞留率の推移

【用語の定義】

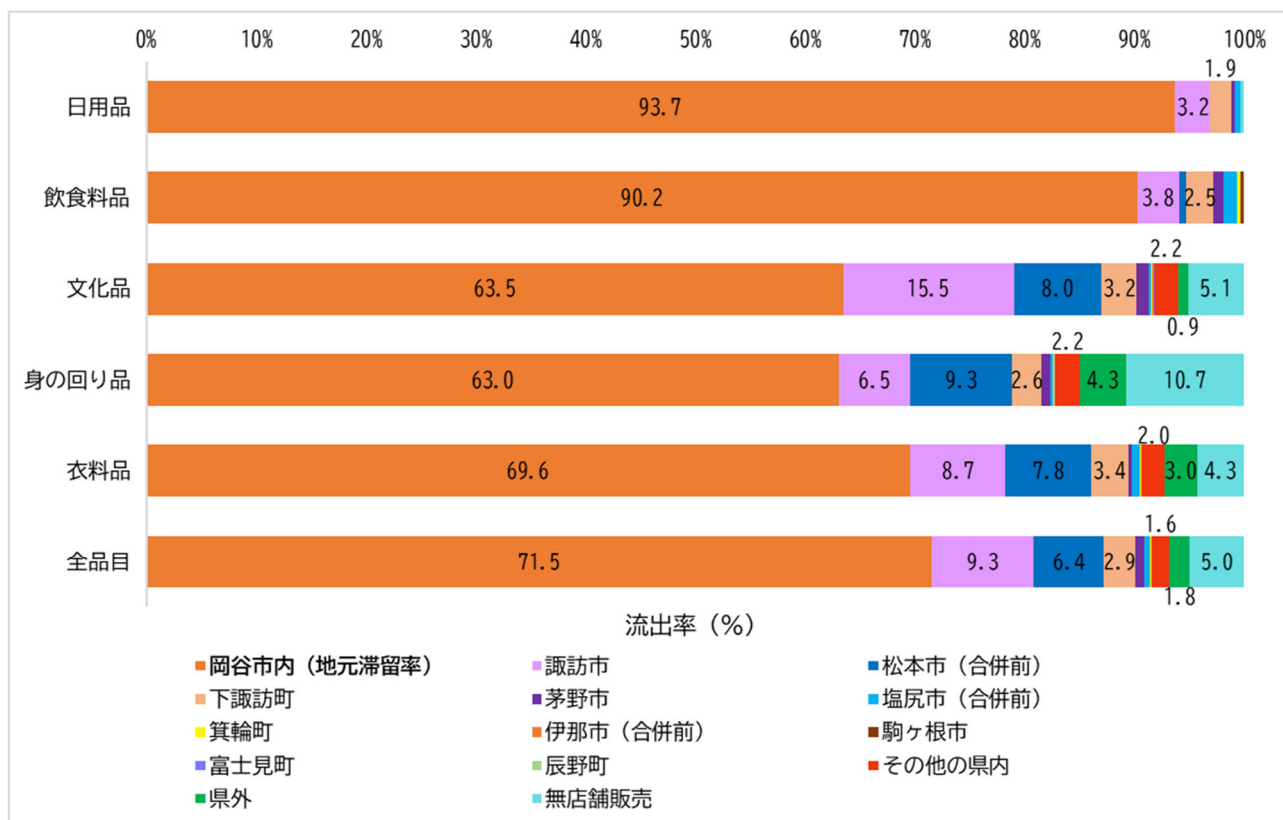
○地元滞留率

居住する地元市町村（平成15年8月31日現在の旧市町村単位）内で主に買物をする世帯の割合（%）

(2) 買い物における流出率

岡谷市の買い物における品目別の流出率について、飲食料品や日用品といった比較的高頻度の買い物では、前述のとおり、岡谷市内での買い物（地元滞留率）が多いため、市外への買い物は少なくなっています。

一方で、衣料品・身の回り品・文化品といった比較的低頻度の買い物については、近隣市町では諏訪市・松本市などが多くなっており、これら以外では県外や無店舗販売（インターネットショッピングなど）が多くなっています。



出典：長野県産業労働部「平成 30 年長野県商圈調査報告書」再編加工

図 2-40 地元滞留率の推移

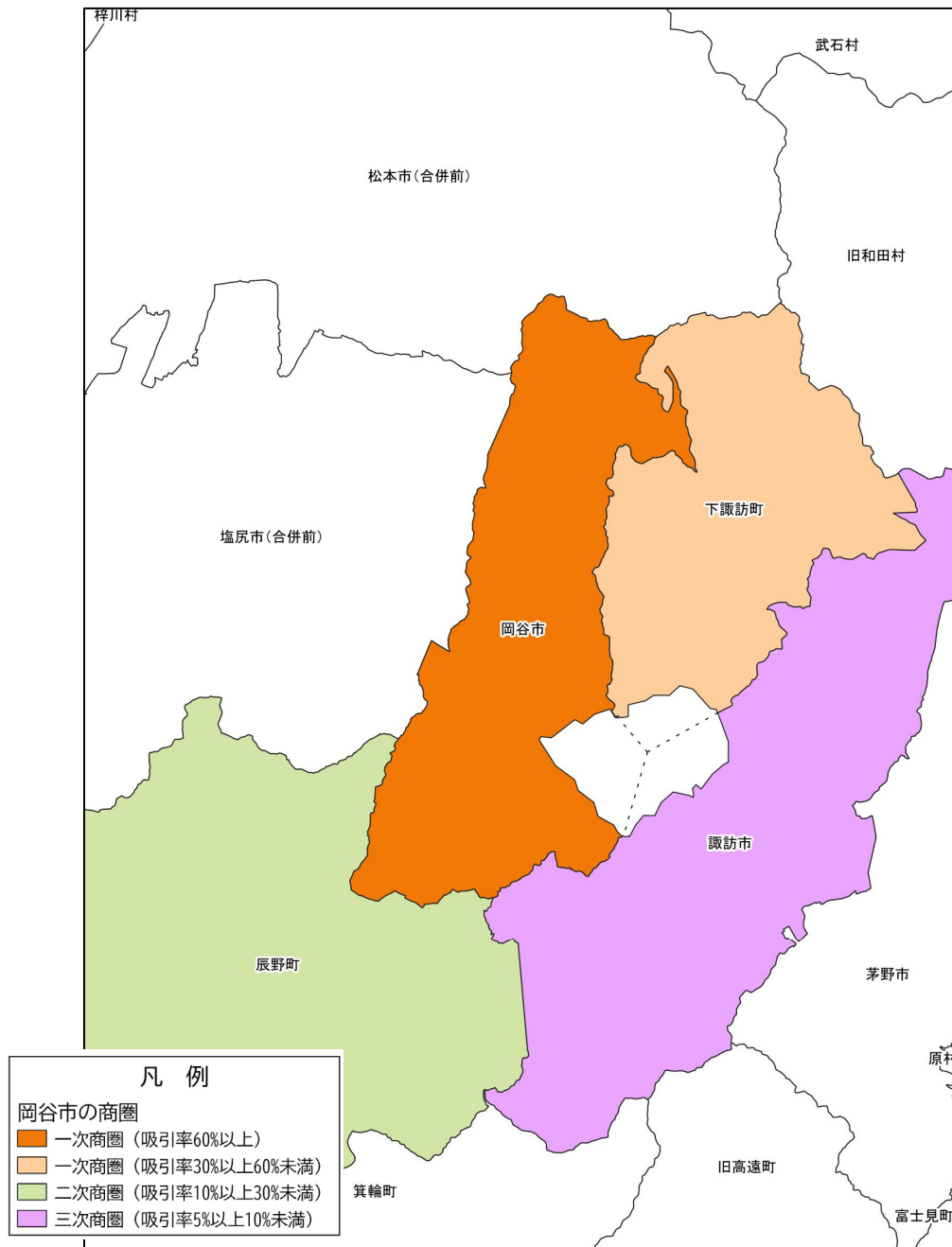
【用語の定義】

○流出率

地元市町村以外で主に買物をする世帯の割合 (%)

(3) 商圏（吸引率）

商圏をみると、隣接する市町村からの吸引では、下諏訪町が一次商圏、辰野町が二次商圏、諏訪市が三次商圏となっています。



出典：長野県産業労働部「令和3年度長野県商圏調査報告書」再編加工

図 2-4 1 岡谷市の商圏

【用語の定義】

○商圏

商業施設等が顧客を吸引する地理的範囲を示しており、次の3区分に分類している。

- ・一次商圏⇒地域の消費需要の30%以上を吸引している地域
- ・二次商圏⇒地域の消費需要の10%以上 30%未満を吸引している地域
- ・三次商圏⇒地域の消費需要の5%以上 10%未満を吸引している地域

○吸引率

流出率を流出先の市町村側からとらえた割合 (%)

2-7. 主要施設の分布

岡谷市の主要施設の分布状況を見ると、その多くが中心市街地に分布しています。特に、医療施設や薬局については市街地の幹線沿いに集中しており、前述の高齢化率を踏まえると、山間部からのアクセスには自動車での移動が不可欠といえます。

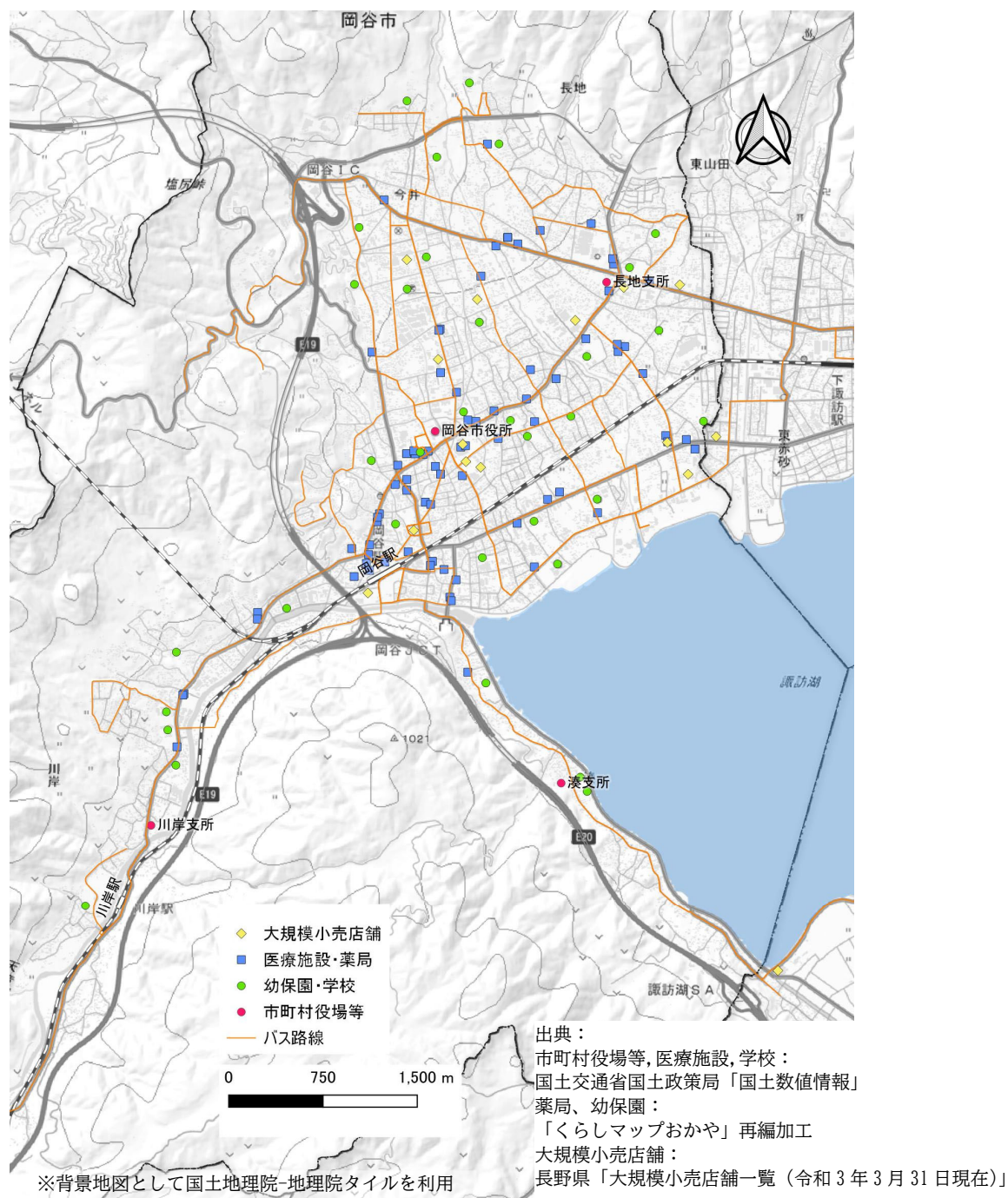


図 2-4 2 施設分布

【施設の定義】

- 市町村役場等：市役所, 支所
- 医療施設・薬局：医療施設は医療法に基づく「病院」「（一般）診療所」（高齢者施設内の施設や季節限定で開所しているものを除く）、薬局は「くらしマップおかや」に記載のあるもの
- 大規模小売店舗：店舗面積が1,000㎡を超える商業施設
- 幼稚園・学校：保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、専門学校、短大、大学

2-8. 観光

(1) 観光地分布

岡谷市の観光地は市内の各地域に点在しています。主な観光地では、諏訪湖畔の岡谷湖畔公園や塩嶺峠に位置する塩嶺御野立公園などの自然とのふれあいが可能な公園のほか、明治時代より栄えた岡谷市の製糸産業の歴史・機械等を展示する岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）など、産業に関する博物館・遺産も市内に分布しています。

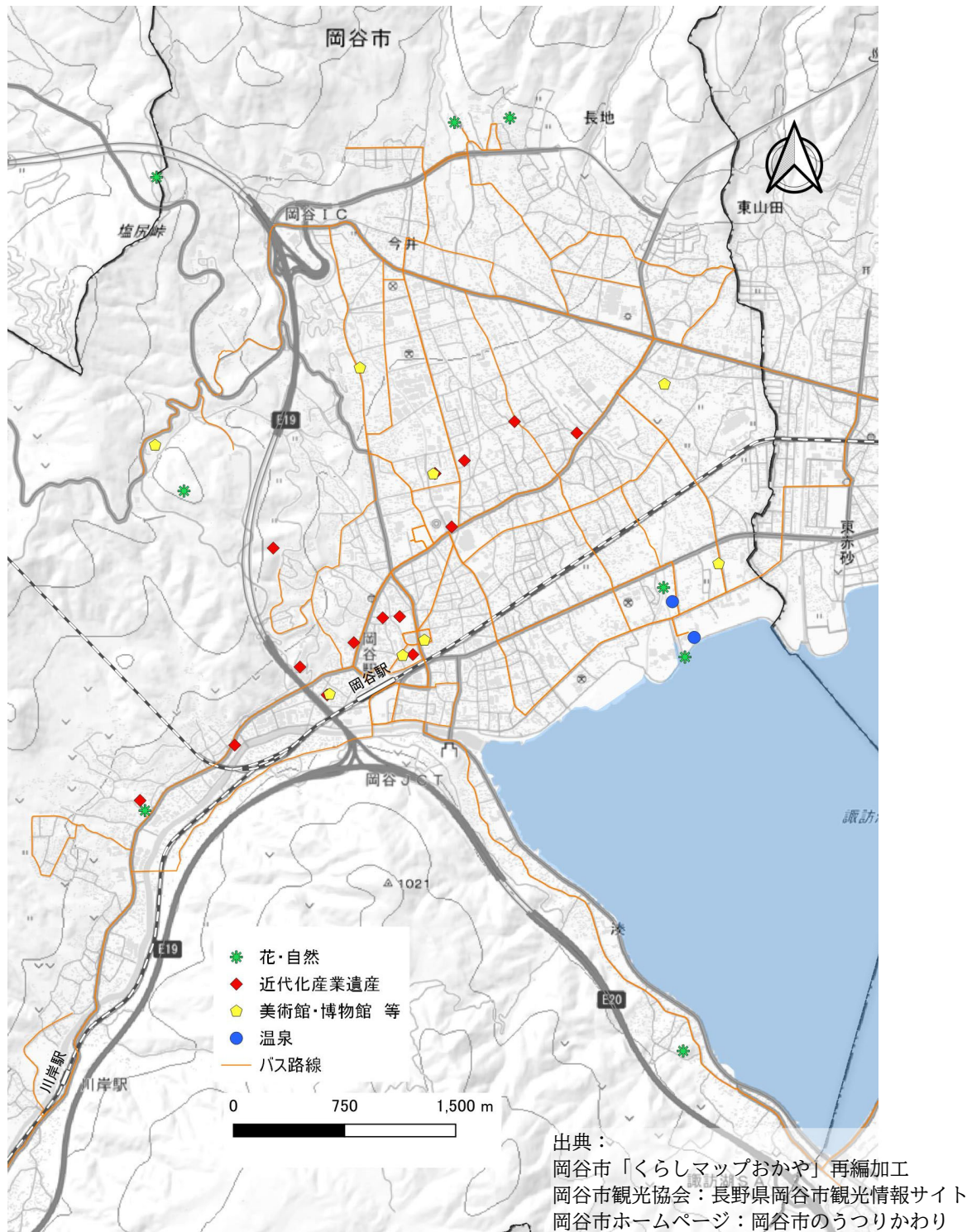
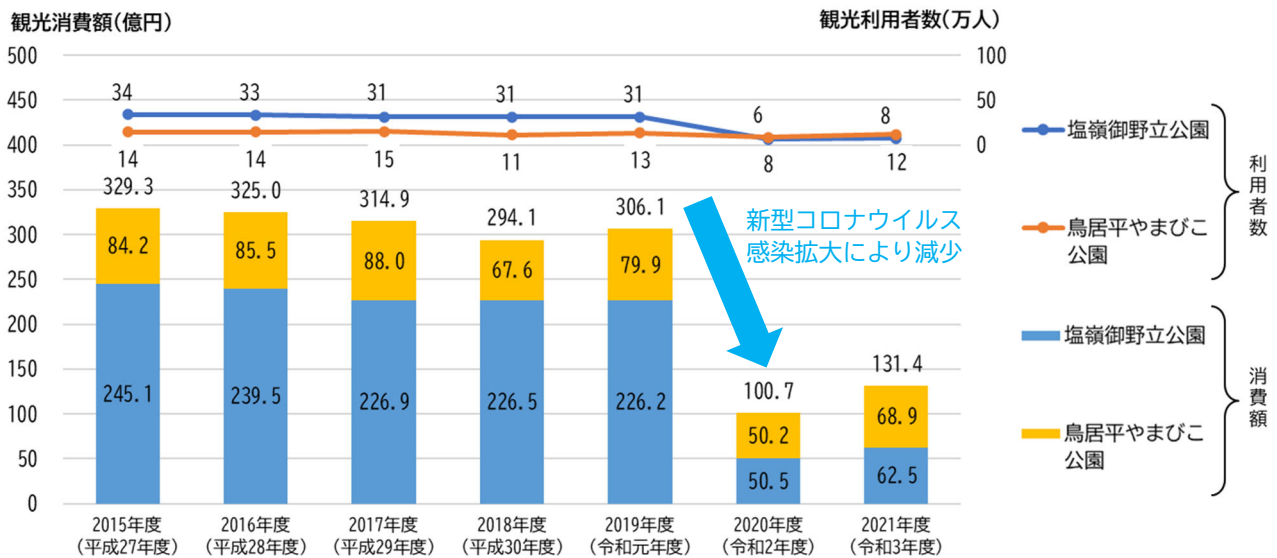


図 2-43 観光地等の分布

(2) 観光地利用者数・観光消費額

岡谷市の観光地に関して、観光利用者数・観光消費額ともに、2018年（平成30年）までは微減傾向が続き、2019年（令和元年）には微増へと転じましたが、2020年（令和2年）以降は新型コロナウイルスの全国的な感染拡大の影響により、両指標ともに大幅な減少となっています。



出典：長野県観光部山岳高原観光課「令和3年観光地利用者統計調査結果」

図 2-4 4 観光地利用者数及び観光消費額



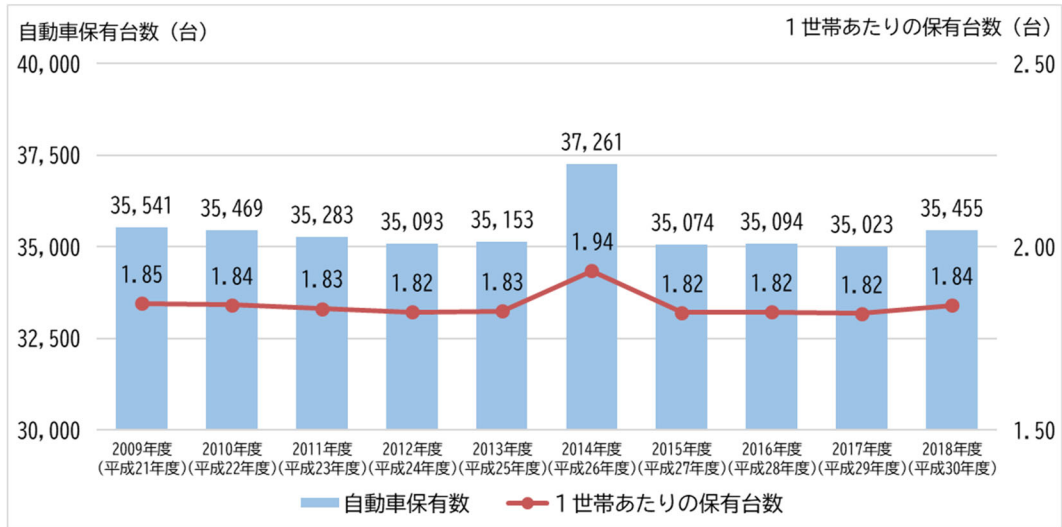
出典：岡谷市商業観光課提供

写真 2-1 鳥居平やまびこ公園からの眺望

2-9. 自動車保有

(1) 自動車保有台数

岡谷市の自動車の保有状況について、近年は自動車保有台数で約 35,000 台、1 世帯あたりの保有台数にして約 1.8 台で横ばいの推移となっています。



※自動車保有台数は「乗用」及び「軽三輪・軽四輪（乗用）」の合計値（年度末3月31日時点）。

1世帯あたり保有台数は「毎月人口異動調査（年度末3月1日）」による世帯数より算出。

出典：自動車保有台数は岡谷市「統計要覧岡谷」

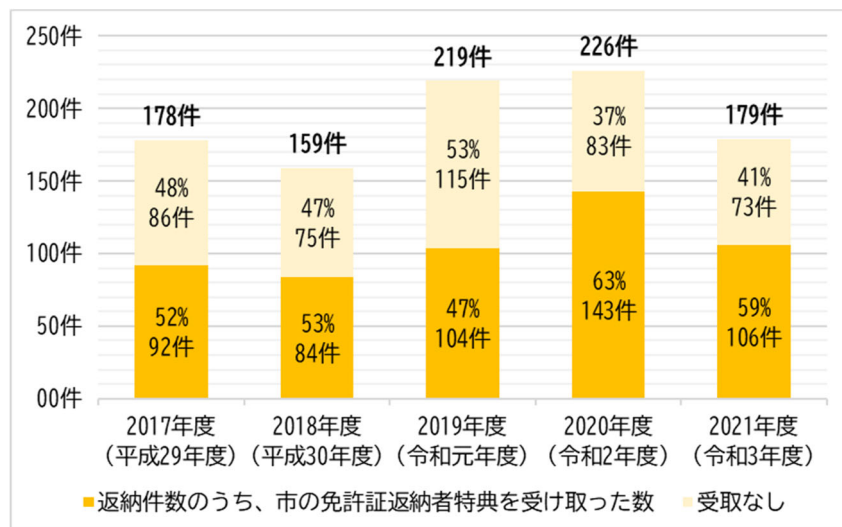
世帯数は長野県企画振興部「毎月人口異動調査」

図 2-45 自動車保有台数と1世帯あたりの保有台数

(2) 自動車運転免許証自主返納件数

岡谷市の自動車運転免許証の自主返納件数は、2019年（令和元年）・2020年（令和2年）では200件を超えましたが、2021年（令和3年）では179件となっています。

このうち、シルキーバスの無料回数券が交付される岡谷市の免許証返納者特典を受け取った件数は、返納件数全体とほぼ同様の推移となっており、全体の約6割が返納者特典を受け取っています。



出典：岡谷市商業観光課提供

図 2-46 自動車運転免許証自主返納件数